

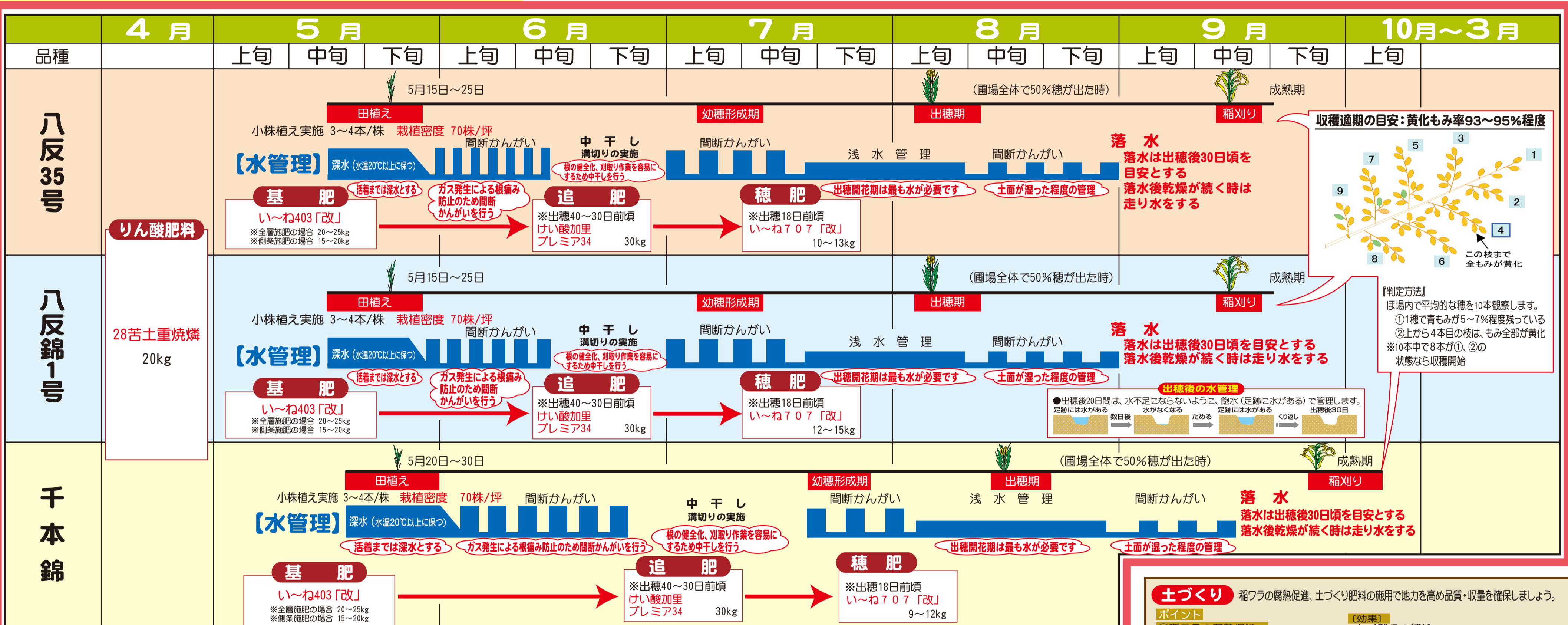
米品質向上のポイント

- ① 堆肥・土づくり肥料を施用し地力を高める
- ② 適正な植付本数の実施（過剰生育の抑制）
- ③ 活着後の間断かんがいの実施
- ④ 中干しの実施（過剰分けつの抑制）
- ⑤ 早期落水をしない（出穂後30日を目安。乾燥が続く時は、走り水の実施）

植付株数の目安

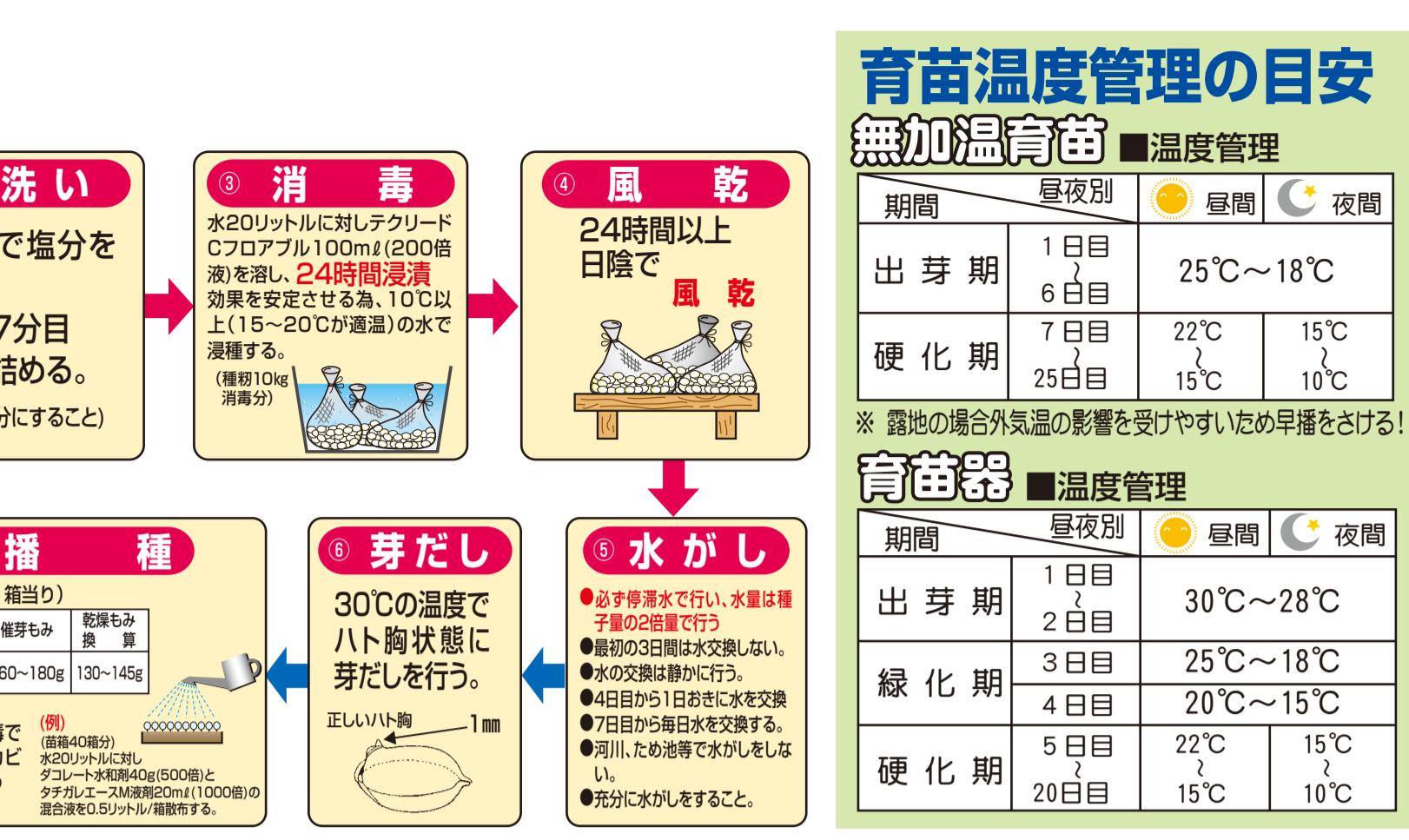
株間(cm)	mあたり株数(株)	坪当たり株数(株)	箱数(箱/10a)
15	22	70	20

生産基準と管理(使用量10a当たりの目安)



水がしと播種日の目安(例) 種子消毒

品種	水がし開始時期	播種時期	田植時期
八反35号	4月10日	4月20日	5月15日
八反錦1号	4月10日	4月20日	5月15日
千本錦	4月20日	4月30日	5月20日



育苗温度管理の目安

無加温育苗 ■温度管理

期間	昼夜別	昼間	夜間
出芽期	1日目	25℃	18℃
	6日目		
硬化期	7日目	22℃	15℃
	25日目	15℃	10℃

育苗器 ■温度管理

期間	昼夜別	昼間	夜間
出芽期	1日目	30℃	28℃
	2日目		
緑化期	3日目	25℃	18℃
	4日目	20℃	15℃
硬化期	5日目	22℃	15℃
	20日目	15℃	10℃

除草剤散布前後のポイント

除草剤の仕組み
 一般的に水田に散布された除草剤はいったん水に溶けて3~4日かけて土壌に吸着され、土壌表面に薬剤の「処理層」(およそ土壌表面から3cm程度の間)を作り、雑草の成長が処理層に接触し雑草を枯らしたり、発芽させない仕組みです。

使用上の留意点
 ① 代かきは丁寧に均平を保つこと。
 ② 雑草発生前の早めの散布を行いましょう!
 ③ 除草剤散布後は、3~4日間は湛水状態を保ち補植は行わない。



除草剤の使い方

除草剤使用時期	田植前後日数	田植	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
低コスト(一発処理)	7																										
標準(体系処理)																											
高機能(体系処理)																											

粉剤防除

品名	使用量	使用時期
デクリアードCフロアブル	200倍液	24時間浸漬
ダコレート水和剤	500倍液	
9チかエースMS液剤	1000倍液	

液剤防除

品名	使用量	使用時期
イモチ病・紋枯病・カメムシ類・ワカ類	50g/箱	は種時(覆土前)~移植当日
イモチ病・紋枯病・カメムシ類・ワカ類	50g/箱	は種時(覆土前)~移植当日

穂ばらみ期(出穂10~7日前頃)

品名	使用量	使用時期
イモチ病・紋枯病・カメムシ類・ワカ類	4kg	収穫7日前まで
イモチ病・カメムシ類・ワカ類	4kg	収穫7日前まで

出穂期(圃場全体で50%穂が出た時)

品名	使用量	使用時期
イモチ病・カメムシ類・ワカ類	4kg	収穫7日前まで
イモチ病・カメムシ類・ワカ類	3kg	収穫35日前まで

傾穂期(乳熟期頃)

品名	使用量	使用時期
イモチ病・カメムシ類・ワカ類	4kg	収穫7日前まで

土づくり

稲ワラの腐熟促進、土づくり肥料の施用で地力を高め品質・収量を確保しましょう。

ポイント
 ① 稲ワラの腐熟促進
 ② 土づくり肥料の施用

害虫防除(ワカ類)
 ワカ類(トビイロワカ・セジロワカ)は海外からの飛来性害虫(例年6月頃より飛来)で、夏から秋にかけて発生が増える水稲害虫です。葉から水分や養分を吸って稲を弱らせ、数が増えたと稲がまとめて枯れる「坪枯れ」となり、収量に影響します。

穂肥の施用目安

品種	施用時期	適正葉色値	肥料名	使用量
八反35号	出穂18日前	3.5~4.0	い〜ね707「改」	10~13kg
八反錦1号	出穂18日前	3.0~3.5	い〜ね707「改」	12~15kg
千本錦	出穂18日前	3.5~4.0	い〜ね707「改」	9~12kg

色値の目安
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

倒伏軽減

倒伏軽減剤使用時期の目安
 ① 小さい亀裂ができる程度に繰り返す。
 ② 中干し前に満切りを行う。
 ③ 小さいひび割れが葉面に残り、足跡が残る程度。
 ④ 足跡に水が残っている程度。
 ⑤ 間断かんがいをを行う。

肥料成分表(%)

肥料名	N(窒素)	P(リン酸)	K(加里)	有機30%	備考
三次きんさい米基肥	10	14	12		有機30%
い〜ね403「改」	14	10	13		
早生ロング364	13	16	14		早生専用一発(苦土)2%
早生い〜ね755	17	15	15		早生専用一発(低コスト)
ネオベスト1号	12	12	12		
ヒカイチ302	23	10	12		中生専用一発
中生い〜ね502	25	10	12		中生専用一発(低コスト)
けい酸加里プレミア34	0	0	20		ケイ酸34.0 苦土4.0 ホウ素0.1
い〜ね707「改」	17	0	17		
ネオベストSR-502	15	10	12		

中干し(70株1坪の場合)

品種	有効茎数の目安
八反35号	16~18本/株
八反錦1号	20~22本/株
千本錦	15~17本/株

※有効茎数の8割程度が確保出来たら中干しを開始しましょう。

水田からの濁水流出による河川等の汚濁防止について

水田からの濁水が河川に流出すると、農業者にとって大切な水田の土や水などを失うだけでなく、河川が濁り、水生生物の餌場である岩ゴケの生育を阻害するなど、環境にも負荷をかけることとなります。次のことを心がけ、環境にやさしい農業に取り組みましょう。

3つのポイント

1. 畦畔からの水漏れを防止しましょう!
2. 代かき・田植え時に排水口から漏水がないよう確認しましょう!
3. 浅水で代かきし、田植え前の落水を行わないようにしましょう!